

Timber City

2026 Spring

Opinion

「木造耐火」の四半世紀と新しい時代の木造設計

木造耐火建築物 最新事例

神人クリニック

キャプション by Hyatt 兜町 東京

サンケン御徒町BLD



一般社団法人

日本木造耐火建築協会

Japan Fire-proof Timber building Association

発行に寄せて - 春のご挨拶 -

当協会は、2026年をもちまして、一般社団法人化から10年の節目を迎えることとなりました。これまで当協会の理念にご賛同いただき、共に歩みを進めてくださった会員の皆様に、心より御礼申し上げます。

『Timber City』2026年春号の発行にあたり、2025年度の主な活動を振り返りたく存じます。6月に発行した「木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル」2025年版（監修：国立研究開発法人 建築研究所）は、木造耐火建築物の設計手法を包括的に示す専門書です。防火規制の大幅な合理化が図られた2024年の建築基準法改正に対応するとともに、当協会が運用する耐火構造の大臣認定や最新の建築事例を追加掲載しております。また、本マニュアルを活用したオンライン講習会を実施し、多数の方に受講いただきました。中高層木造建築に挑戦される皆様の一助となれば幸いです。

7月に開催した「キャプション by Hyatt 兜町 東京 完成見学セミナー」には、約1,300名が参加され、高い関心をお寄せいただきました。同施設は、高級ホテルブランドのカジュアルラインとして、木の温もりを活かした心地よい空間を実現しており、宿泊者からも高い評価を得ていると伺っております。木のやわらかな質感と心地よさは、従来のコンクリートや鉄を主体とした空間とは異なる価値を創出し、今後のホテル建築における木造化の可能性を示すものといえます。

8月には、農林水産省および国土交通省との三者協定を締結しました。2021年の木材利用促進法改正以降、建築物全般における木造化・木質化が推進される中、本協定はその流れを一層加速させるものと認識しております。

2025年度は、都市部における混構造の高層建築や、地方における純木造の中高層建築など、全国各地で多様なプロジェクトが竣工しました。2026年度も注目度の高いプロジェクトの竣工が多数予定されており、都市空間における木造建築の存在感は一層高まっていくものと期待しております。さらに、こうした国内での取り組みを基盤として、英語版マニュアルの整備や欧州企業との連携を通じ、日本の木造耐火技術の海外展開にも引き続き取り組んでまいります。

当協会は、100年後に生きる人たちに希望を与える建築をつくり、「木造都市」の実現に向け、今後も歩みを進めてまいります。会員の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本木造耐火建築協会
会長 木村一義

目次

Opinion.....	4
「木造耐火」の四半世紀と新しい時代の木造設計	
協会活動報告.....	6
Topics.....	8
大臣認定の不適合にご注意ください	
木造耐火建築物の設計マニュアル講習会 本年度スケジュール	
木造耐火建築物 最新事例.....	9
神人クリニック.....	10
キャプション by Hyatt 兜町 東京.....	14
サンケン御徒町BLD.....	18
新規入会一覧.....	22

会員の皆様へ

会員登録事項の変更の際は届け出ください

担当者変更などご登録情報に変更があった場合は、変更申請を届け出ください。右記QRコードより書式をダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局にご送付ください。

▼変更申請の
届け出はコチラ



メルマガ会員募集中!

毎週金曜日配信のメルマガジン会員を募集しています。協会からのお知らせ、業界ニュース、各種イベント情報などを配信しています。ご希望の方は入力フォームよりご登録ください。

※連絡担当者様、マニュアル講習会受講者様へは配信中です。

▼メルマガの
会員登録はコチラ



「木造耐火」の四半世紀と新しい時代の木造設計

一般社団法人 日本木造耐火建築協会
副会長 安達広幸

建築がつなぐふたつの循環

木材の最大の受け皿たる住宅の着工件数減少が叫ばれて久しく、それに伴って木材の使用量も必然的に縮小を余儀なくされています。今、建築にはどんな選択が求められているのでしょうか。

木材の使用には、持続可能な社会を構築するうえで極めて重要な社会的意義が存在します。それは、「森林の循環」と「都市の循環」というふたつのサーキュラーエコノミー形成への寄与です。「森林の循環」は建築事業者からみれば上流に位置する商流で、植えて、育てて、伐って、使つての循環です。他方、「都市の循環」は、設計、建設、解体・再利用の流れを指します。建築で木材を使用すると、森の使つてと都市の設計とがつながる。そうすることで

両循環に相乗効果が生まれ、環境汚染や地域経済の縮小といった社会全体で抱える課題の解決につながるのではないかと考えられています。

「都市の循環」における、木材利用の主要な担い手であった住宅の着工件数が減り続けることは避けられないでしょう。だからこそ、非住宅、中大規模の領域でも木造化・木質化を推進する必要性が生じているのです。建築での木材利用を促す施策や転換が官民で進められている背景には、こうした必然性があります。

「使う」のその先へ

中大規模木造建築を検討するうえで、耐火性能は軽視できません。日本における木造耐火建築の萌芽は2000年まで遡ります。

2000年代初頭という、国内で地上100m級の木造ビルが実現するなどとは想像すら難しい状況でした。2000年に防火規定の性能規定が法制化されると、はじめて木造耐火建築物が設計できるようになりましたが、それでも当時の技術水準では45分間あるいは1時間の「準耐火構造」が主流でした。2010年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が制定されるなど制度合理化の後押しが続き、1時間、2時間の木質耐火構造の技術が確立されます。そして2017年には、超高層木造ビルをも設計可能とする3時間耐火構造まで実現。木造建築の高さや階数、規模の制限が事実上なくなりました。先述の「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」で公共建築物の木造化が進み、2021年の同法の改正によって民間の建築物への木材利用も広く歓迎されるようになりました(通称:「都市の木造化推進法」)。2023年の1.5時間や2.5時間といった中間の耐火構造を設ける法整備で、より合理的な中大規模木造建築の設計も可能となりました。2025年にはいわゆる「4号特例」が見直され、原則としてすべての

建築物に「省エネ基準への適合」が義務付けられるとともに、構造計算が必要な範囲が広がっています。

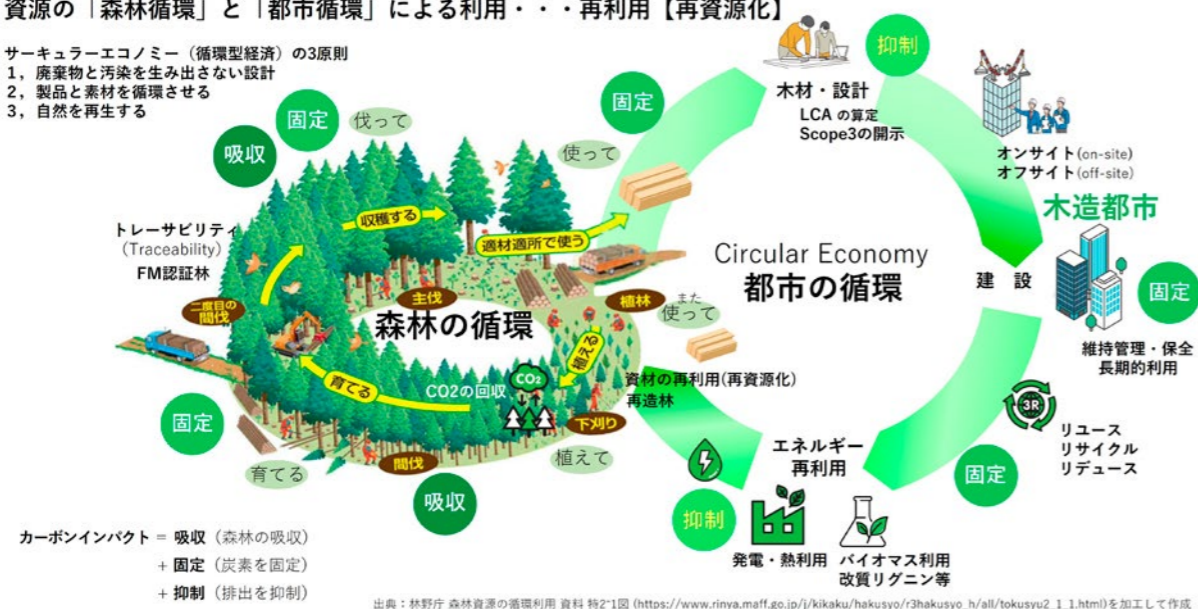
そして今や上場企業を中心とした環境配慮の評価指標が普及しており、2028年には大規模建築物におけるCO₂排出量の届出が義務化されます。設計者は建築主に対して、建設時および運用時のCO₂排出量を数値として示す責任が生じるのです。

これからの時代、木造建築に携わる設計者には2つの高度な専門性が求められると考えています。第一に構造と耐火の確固たる技術力です。住宅の延長ではなく、材料の強度に対するエビデンスを担保した設計が不可欠です。また、3D設計などを駆使し、新しい世代を惹きつける高度なデザイン性も求められます。第二に「解体設計」の視点です。新築設計の初期段階から、将来の解体・再利用までを視野に入れていかに炭素を地上に留めるかまで計画する必要があります。

鉄やコンクリートに比べて、木材は製造時のエネルギー消費が格段に少なく、また炭素を「固定化」できる素材として、ネットゼロ(排出量実質ゼロ)達成の切り札です。木材という選択肢を上手に使い、「森林の循環」と「都市の循環」をつなぐ。持続可能な社会という壮大なゴールに向けて、建築はそんな責任を担っているのではないのでしょうか。

資源の「森林循環」と「都市循環」による利用・・・再利用【再資源化】

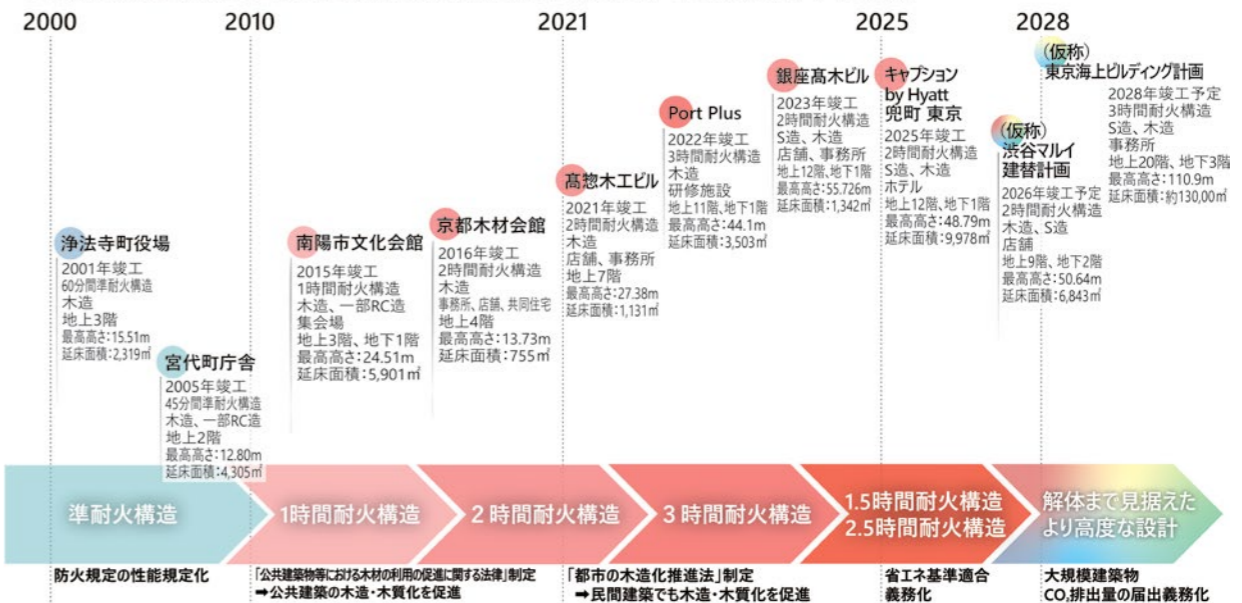
サーキュラーエコノミー(循環型経済)の3原則
1, 廃棄物と汚染を生み出さない設計
2, 製品と素材を循環させる
3, 自然を再生する



カーボンバクト = 吸収(森林の吸収)
+ 固定(炭素を固定)
+ 抑制(排出を抑制)

出典: 林野庁 森林資源の循環利用 資料 特2-1図 (https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r3hakusyo_h/all/tokusyu2_1_1.html)を加工して作成

木材活用推進の流れと主な木造耐火建築物(木耐建委員の実績を中心に先進性の高い事例を抜粋)



協会活動報告

2025. Jul. - 2026. Feb.

当協会では安全で質の高い木造建築物の普及の為、様々な活動を行っています。昨年完成した複数の木造耐火建築物では、多くの会員の皆様に見学・視察いただける機会を得ました。関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。

2025. Jul. 「キャプション by Hyatt 兜町 東京 完成見学セミナー」の開催

S造と木造のハイブリッド12階建てのホテルの完成見学会を開催しました。

会場: キャプション by Hyatt 兜町 東京(東京都中央区)
 主催: (一社)日本木造耐火建築協会
 共催: 平和不動産(株)、(株)三菱地所設計、(株)大林組、(株)シェルター
 後援: 国土交通省、林野庁、東京都、(一社)木を活かす建築推進協議会、森林を活かす都市の木造化推進協議会、(株)日本政策投資銀行
 参加: 1,300名(会期2日間合計)



Aug. 農林水産省及び国土交通省と3者協定を締結

「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」第15条第1項にもとづき、農林水産省及び、国土交通省と「中高層・大規模耐火木造建築の普及に関する建築物木材利用促進協定」を締結しました。
 8月27日には、林野庁長官室で協定締結式が執り行われました。



Oct. 『木質耐火部材製作実施マニュアル』の運用を開始

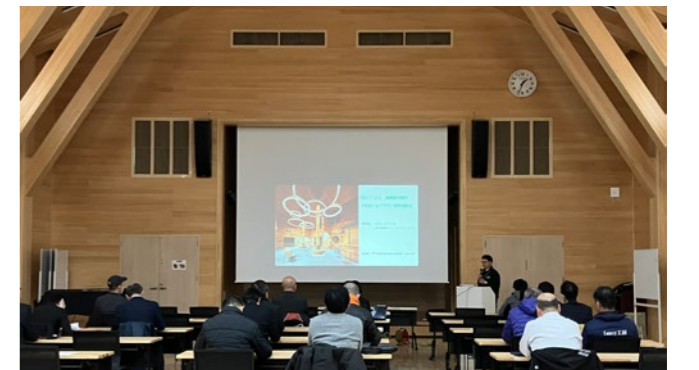
当協会会員である(株)大林組及び(株)シェルターが整備した『木質耐火部材製作実施マニュアル』の運用を開始しました。本書は対象の木質耐火部材の製作方法を具体的に示しており、要求性能を確実にする品質管理に活用いただけます。当協会発行『木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル2025』講習会の修了者に提供します。また、本書にもとづく品質管理者を、現場で識別するためのシールの販売を開始しました。



2026 Jan. 「みなくるプラザ 物件視察会」の開催

甲賀市協力のもと、限定数を対象として木造平屋建ての地域交流施設の視察会を開催しました。

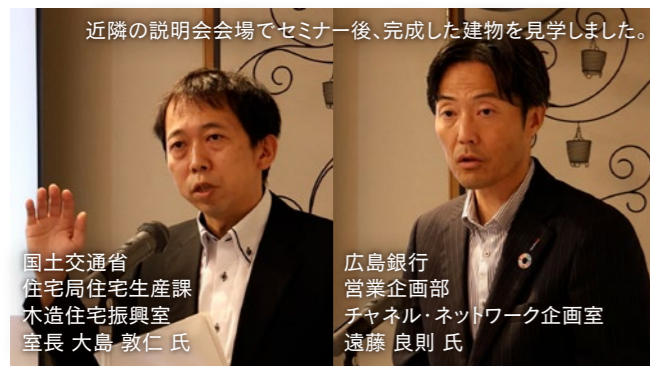
会場: みなくるプラザ
 (水口西部コミュニティセンター/滋賀県甲賀市)
 主催: (一社)日本木造耐火建築協会
 参加: 19名



Sep. 金融機関対象「神人クリニック完成見学会」の開催

純木造5階建ての医療ビルの完成に伴い、金融機関を対象とした見学会を、国土交通省、(株)広島銀行の協力のもと開催しました。

会場: 神人クリニック(広島県広島市)、オンライン併用
 主催: (一社)日本木造耐火建築協会
 登壇: 国土交通省、(株)広島銀行、(一社)日本木造耐火建築協会
 参加: 40名/24社(現地・オンライン合算)



Oct. 「[関西] 非住宅木造建築フェア2025」に出展

非住宅領域における木造建築に特化した専門展示会「[関西] 非住宅木造建築フェア2025」に出展しました。ブースでは木造耐火技術に関する最新情報や、中高層・中大規模木造建築物の事例、会員の実績や技術等を紹介しました。

会場: インテックス大阪(大阪市住之江区)
 ブース来訪: 133名/101社(会期2日間合計)



Feb. 「ケアコミュニティ みちふの森 完成見学会」の後援

純木造3階建ての重度身体障害者向け福祉施設の完成見学会を後援しました。

会場: ケアコミュニティ みちふの森(東京都調布市)
 主催: (株)楓設計室、(株)トーヨー富士工
 共催: (株)シェルター
 後援: (一社)日本木造耐火建築協会
 参加: 220名(会期2日間合計)



Feb. 「建築物LCA法制化前のEPD(環境製品宣言)導入に向けた基礎知識」の開催

建築物LCA(ライフサイクルアセスメント)法制化に向け、普及するEPDの入門編となるセミナーを(株)ヴォンエルフと共催しました。

会場: (株)ヴォンエルフ 東京オフィス(東京都千代田区)、オンライン併用
 主催: (株)ヴォンエルフ、(一社)日本木造耐火建築協会
 参加: 107名(現地・オンライン合算)



大臣認定の不適合にご注意ください

大臣認定品の認定内容の変更には
大臣認定の変更申請
が必要です。

【指定建築材料について】
大臣認定品に関する
品質管理方法を見直そう！

【防火構造等について】
大臣認定品の耐火壁の面材
の置付間隔を変えよう！

大臣認定品は、防火構造の範囲内
であれば問題はありません。

変更申請せずに上記のようなことを行うと
大臣認定不適合
となります。

大臣認定不適合となると、特定行政庁において建築基準法違反
と判断される可能性があります。

大臣認定不適合は、
未然に防ぐことが重要です。

このチラシに関するお問い合わせは
国土交通省住宅政策課（建設政策部） 付 認定班
03-5924-1111

国土交通省

大臣認定の不適合が報告されている状況をうけ、国土交通省より注意喚起が発出されています。国土交通大臣認定は、仮に性能が向上すると考えられても、認定の範囲を超えた仕様の変更は不適合となります。大臣認定不適合は未然に防ぐことが重要です。

この機会に、大臣認定の適合確認体制について改めてご点検いただきますようお願いいたします。



注意喚起と変更申請を案内する資料が国土交通省のホームページで提供されています。
https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_fr_000186.html

木造耐火建築物の設計マニュアル講習会 本年度スケジュール



『木質耐火部材を用いた木造耐火建築物設計マニュアル 2025』（監修：国立研究開発法人 建築研究所）を解説するオンライン講習会の本年度スケジュールが確定しました。

本書では、防火規制の大幅な合理化が行われた2024年の建築基準法改正に準拠したほか、当協会が運用する大臣認定の大幅増補など、多くの改訂をいたしました。ぜひご受講いただきたく、ご案内申し上げます。

当協会のHPからお申し込みいただけます。

■2026年度開催スケジュール

- 2026年4月14日(火) - 20日(月)
- 2026年6月9日(火) - 15日(月)
- 2026年9月8日(火) - 14日(月)
- 2026年10月20日(火) - 26日(月)
- 2026年12月8日(火) - 14日(月)
- 2027年2月9日(火) - 15日(月)

■受講料

- ・新規受講：22,000円(税込)
- ・再受講：11,000円(税込)
- ・特別会員は受講料無料

※再受講は、受講修了証の有効期限内(前回受講から5年以内)に限ります。有効期限を経過した場合は、新規受講となります。

■プログラム

1. 主催者挨拶
2. 中大規模木造建築の最新動向
3. 技術仕様・運用管理について
 - ・概要説明
 - ・2024年 改正建築基準法における防火規制の要点
 - ・第2章 木造耐火建築物について
 - ・第3章 木質耐火構造による中高層建築物設計上の要点
 - ・第4章 木造耐火建築物設計の基本的な考え方
- ・木質耐火部材大臣認定の仕様
- ・第5章 木質耐火構造の設計
- ・第6章 耐火建築物設計事例
- ・大臣認定部材の製作・管理のポイント
- ・第1章 木耐建による大臣認定の運用と管理

※プログラム内容は変更となる場合があります。

▶お申し込みは
コチラ



木造耐火建築物 最新事例

広島県広島市
神人クリニック

東京都中央区
キャプション by Hyatt 兜町 東京

東京都台東区
サンケン御徒町BLD



神人クリニック

広島県広島市
2時間耐火構造
2025年10月竣工

用途地域:準防火地域、商業地域
主要用途:医療施設
敷地面積:141.23㎡
建築面積:104.14㎡
延床面積:505.86㎡
階数:地上5階
最高高さ:17.42m
構造:木造
基礎:ベタ基礎

建築主:医療法人社団えとむ会
設計・監理・施工:下岸建設株式会社
設計協力:ぼたデザイン、moa architects
施工協力:株式会社よつば建設

木材使用量:142.6㎡
炭素貯蔵量:108t-CO₂
GHG排出量:126.9kg-CO₂e/㎡年
樹種:カラマツ(構造材:国産)
スギ(構造材の表層仕上げ材:国産)

撮影:ヴィブラフォト/浅田美浩(特記を除く)



近年大規模な再開発で様変わりする広島駅エリア。その北口に広がる商業地域・準防火地域に、純木造5階建ての医療ビルが完成した。

ブレースに地震力のみを負担させて耐火被覆を不要とすることで、連続的な窓から木造部を見せるファサードデザインが採用されている。

計画地の敷地条件から杭工事を要する工法が現実的でなく、木造軸組み工法で計画された。木造を選択したことで躯体が軽量化され、地盤改良工事とベタ基礎が選択可能となり計画実現に至った。なお、地盤改良工事にはコロンブス工法が用いられた。

柱、梁、ブレースの構造材には国産のカラマツ集成材を使用。JASの強度等級E95-F270を基本とし、応力が大きな箇所にはE105-F300も採用されている。柱、梁の一部にスギ製材で仕上げる耐火構造の国土交通大臣認定が採用されており、建物内部の木質化も図られた。



写真提供: 下岸建設株式会社

4階の施工の様子。設備配管のため梁に設けられた貫通孔にも耐火被覆が施された。貫通孔性能評価試験によって耐火性能が確認された仕様で石膏筒が用いられている。

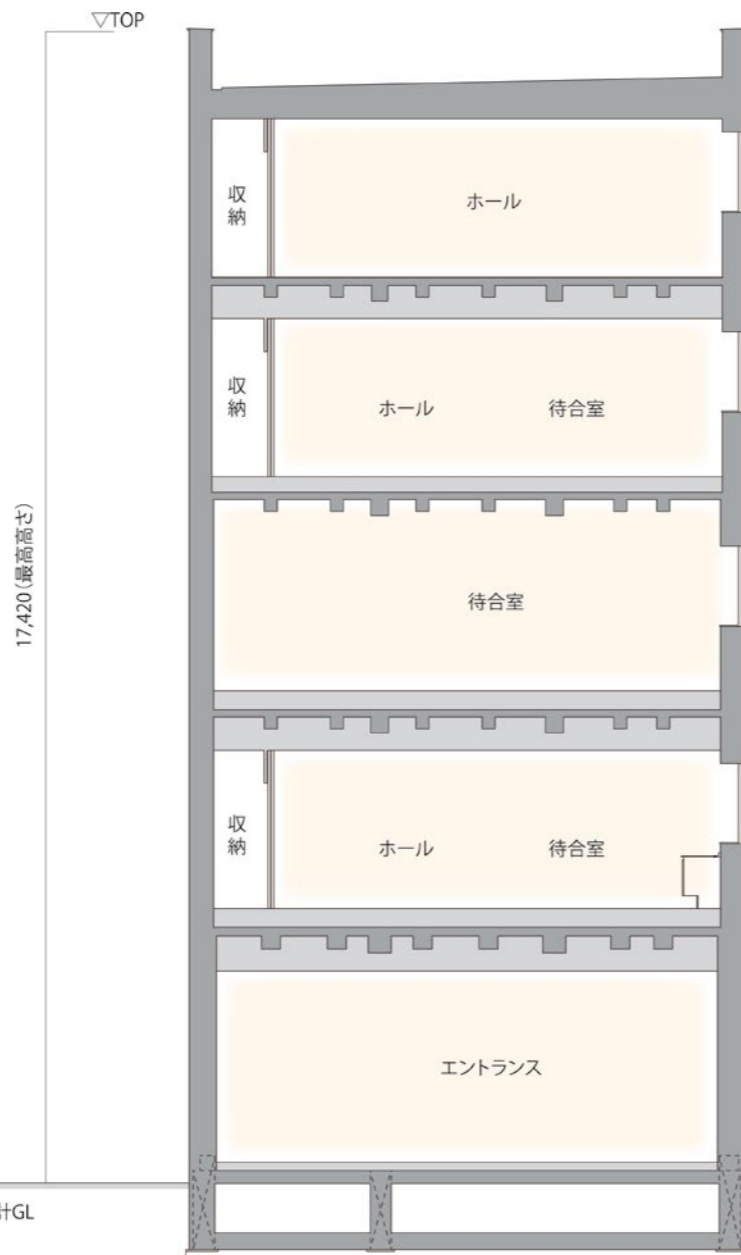


写真提供: 下岸建設株式会社

耐火被覆の施工の様子。1階は2時間耐火構造のため3枚貼り、2階以上は1時間耐火構造のため2枚貼りの強化石膏ボード被覆による耐火構造の国土交通大臣認定が用いられた。また、随所の柱と梁に表層を木材で仕上げる大臣認定も用いられ、主要構造部においても木造が現されている。



3階 内観(内装工事前)



△設計GL

断面図



3階 平面図



4階 待合室



4階 処置室

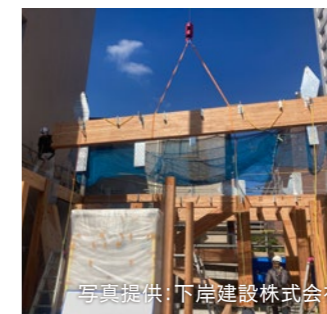


1階 エントランス



写真提供: 下岸建設株式会社

EVシャフトの施工の様子。鉄骨と木構造との接合部では耐火被覆の連続性を確保し、熱橋をつくらぬ納まりが施されている。



写真提供: 下岸建設株式会社



写真提供: 下岸建設株式会社

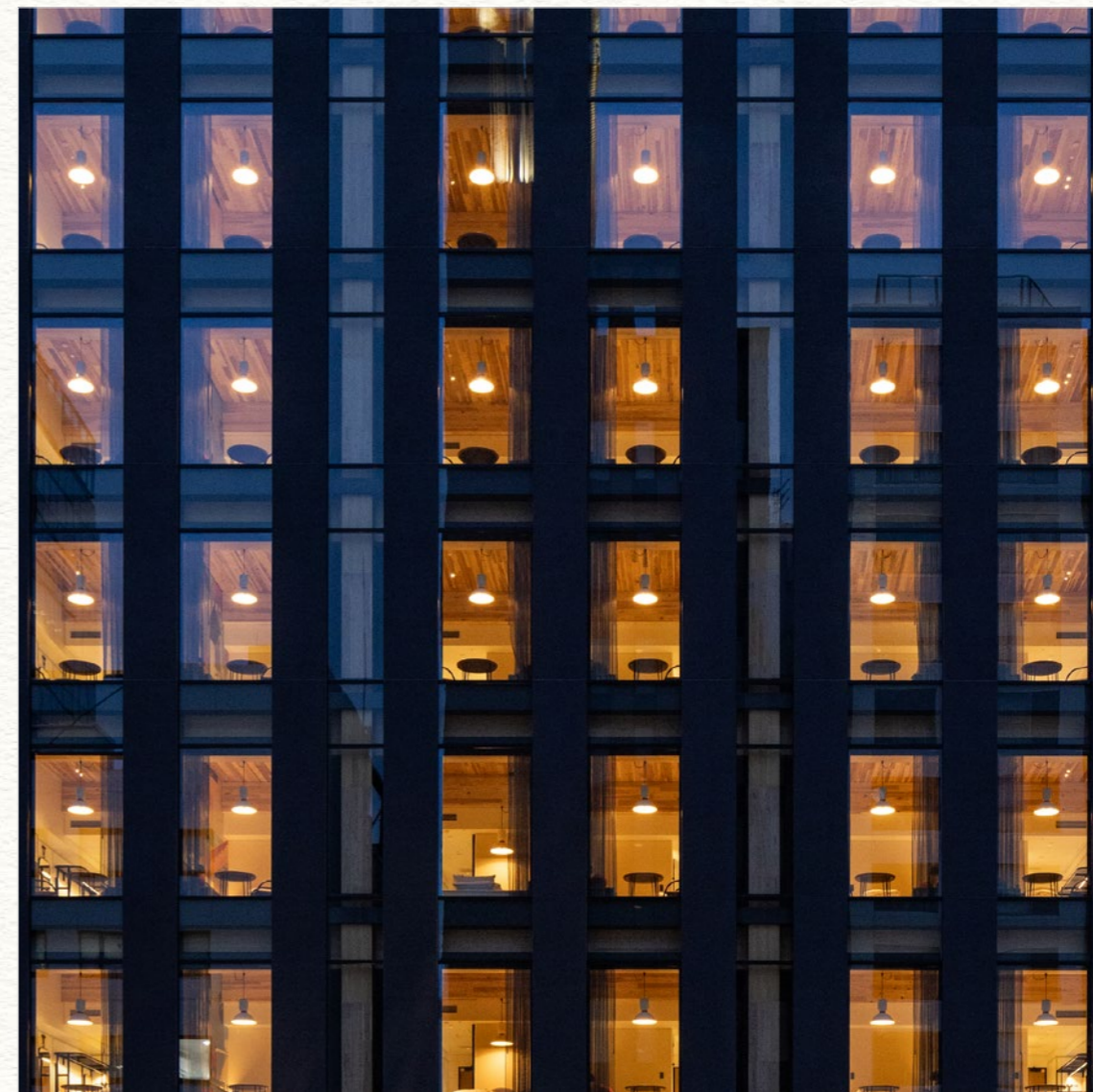
本計画を経て、木造耐火建築への今後の展望は？

設計・監理・施工: 下岸建設株式会社

本計画を通じ、木造はRC造やS造と並ぶ有力な選択肢になると確信しました。

建物の軽量化による基礎コスト削減や、木ならではの温もりも大きな魅力です。

この経験を活かし、ゆくゆくは自社の分譲マンションシリーズの木造化という目標へ向け、挑戦を続けていきたいです。



キャプション by Hyatt 兜町 東京

東京都中央区
2時間耐火構造
2025年6月竣工

用途地域:防火地域
主要用途:宿泊施設、商業施設
敷地面積:1,093.59㎡
建築面積:864.76㎡
延床面積:9,977.66㎡
階数:地上12階、地下1階、棟屋1階
最高高さ:48.79m
構造:地上鉄骨造、一部木造(柱一部CFT造)
地下鉄筋コンクリート造、一部鉄筋鉄骨コンクリート造

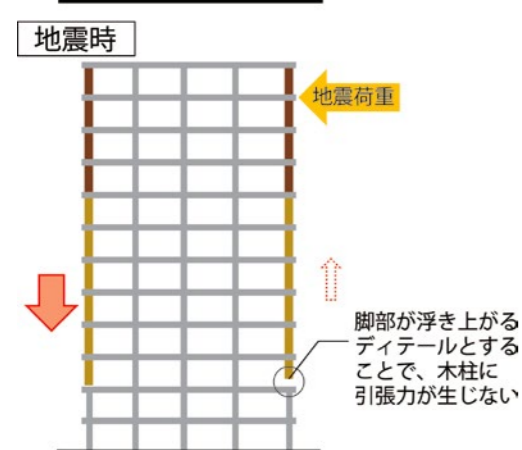
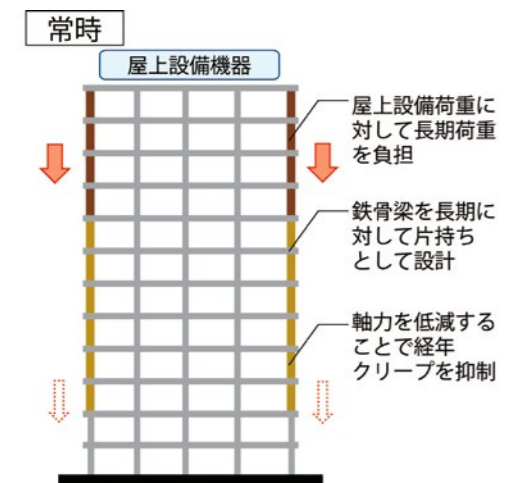
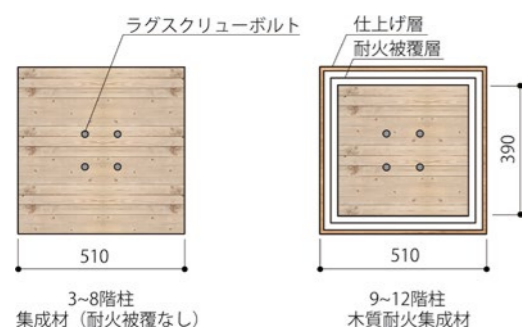
建築主:平和不動産株式会社
設計・監理:株式会社三菱地所設計
内装設計:ミッチェル アンド イーズ
施工:株式会社大林組

基礎:杭基礎
木材使用量:124.79㎡
炭素貯蔵量:92t-CO₂
樹種:カラマツ(構造材:福島)
スギ(構造材の表層仕上げ材:神奈川)
(天井仕上げ材(配筋付型枠):鹿児島)
(低層部北面外装材(焼杉):広島)

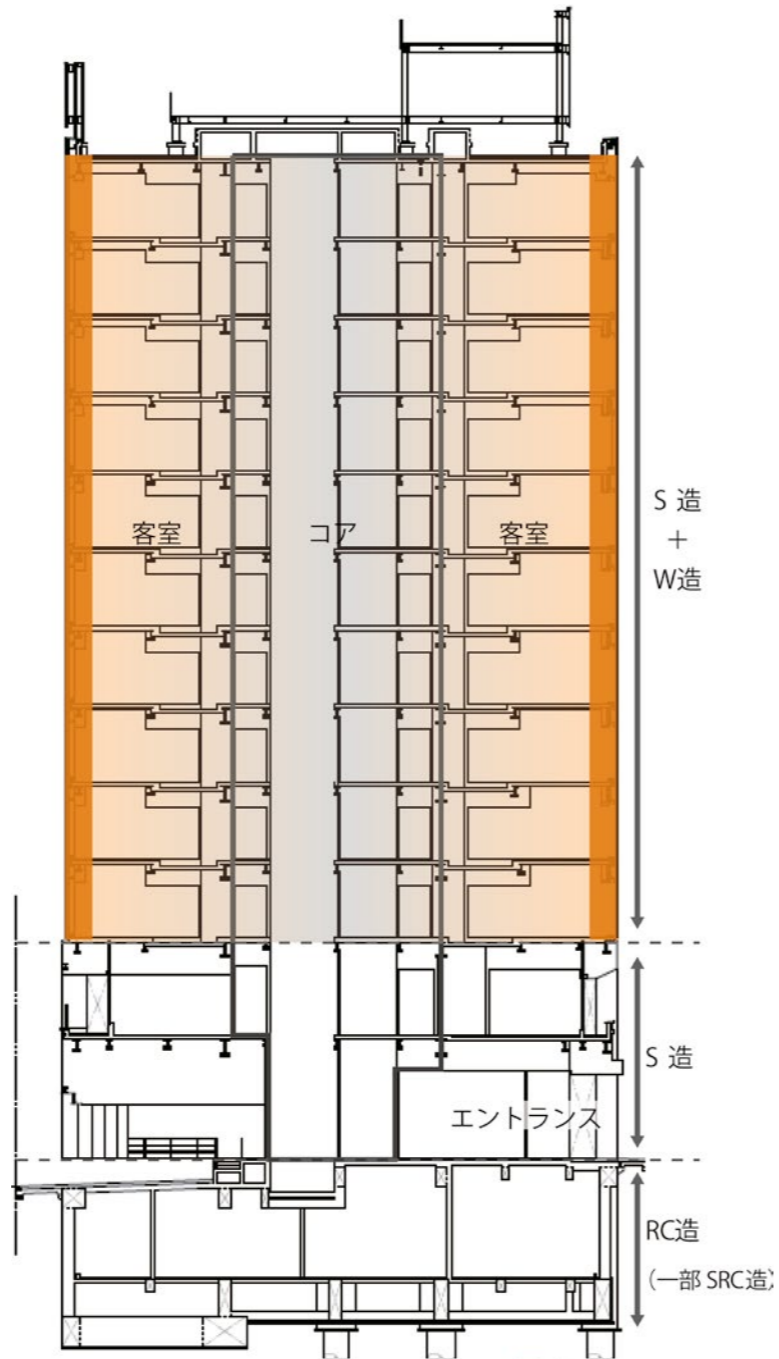
写真提供:平和不動産株式会社(特記を除く)

金融街として発展した日本橋兜町に宿泊機能をもたらす地上12階建てのホテル。1～2階を鉄骨造、3階以上の一部を木造とした混構造の建物である。低層部の外装に焼杉と壁面緑化を配し、ガラス張りのファサードによって木フレームを現すことで、都市に新たな表情を添えている。レストラン、カフェ、バー、コワーキングスペースが一体となった多機能空間としてTALK SHOPが設けられるなど、1～2階はひらかれた場と位置づけられた。3階以上を客室階とし、5室のスイートルームを含む195室を配置。随所にあしらわれたグラフィックアートによって都会的な空気を演出しながら、木材も多用することで心安らぐ温かみが同居した空間がデザインされている。

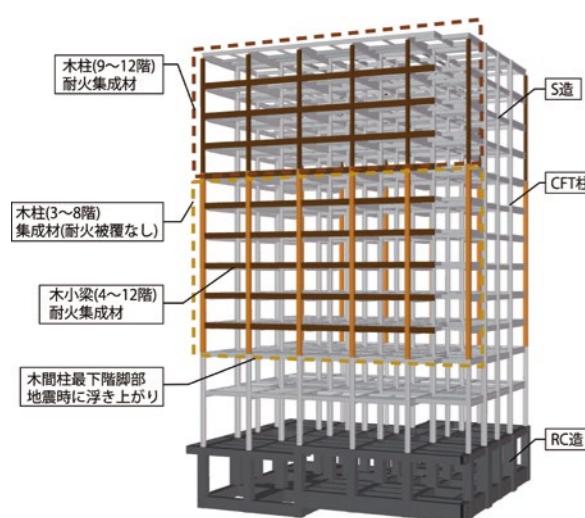
柱と梁の木構造は主構造である鉄骨造の外周に配され、表層を木材で仕上げる耐火構造の大臣認定を用いるほか、耐火性能が不要な間柱も併用することで、効率的に現しの木造が設計されている。環境負荷の低減を図りながら木構造の美しさを表現し、ホテルに求められる機能性や快適性も実現した先導的な事例である。



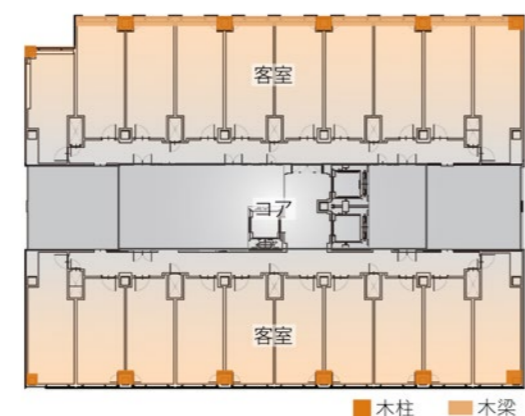
木柱は地震時の圧縮力の差異に応じて、上層と下層の断面寸法と耐火仕様が検討されている。これによって下層から上層にかけて概ね同径で均整のとれたフレームが実現した。



断面図



構造フレーム



基準階平面図



スタンダードルーム(コーナー部)。柱と梁の木造部が現されている。天井の木仕上げは配筋付型枠による。遮音性能確保のため床はRCスラブとするほか、客室間に位置する木柱は壁と直接取り合わせず、周囲を壁で囲っている(右写真)。この壁は防火区画形成の役割も担い、防火設備仕様の点検扉が設置された。ファサード面をガラス張りとし、外観に木柱が現されている。



撮影:当協会事務局



1階 TALK SHOP

本計画を通して見えた木造耐火建築の可能性と課題は？

建築主:平和不動産株式会社 近藤大知氏

当社が進める日本橋兜町・茅場町の街づくりの一環として、本計画では木造ハイブリッド構造のホテルを実現しました。都市において木を現す建築は、街並みに温かみや潤いをもたらすとともに、新たな街の表情や滞在価値を生み出す可能性があると考えています。本計画で得られた知見を今後の開発や街づくりに活かし、サステナブルな取り組みを通じて街の価値を高めていきたいと考えています。

設計・監理:株式会社三菱地所設計 新田佳代氏

中高層木造建築の普及性と汎用性の確立を目指して、特殊工法を使用することなく適材適所で木造化し、木構造の現しにも挑戦しました。樹種や個体ごとのキャラクターに応じた色味合わせや、施工中の養生や汚れの手直しなど、細部にわたって木材ならではの配慮を要しました。3-8階の木部に長期荷重を負担させないための施工手順や外装ディティールといった工夫は、誰もが使いやすい構造計画となっており、木の魅力を引き出す新しい木造提案です。



サンケン御徒町BLD

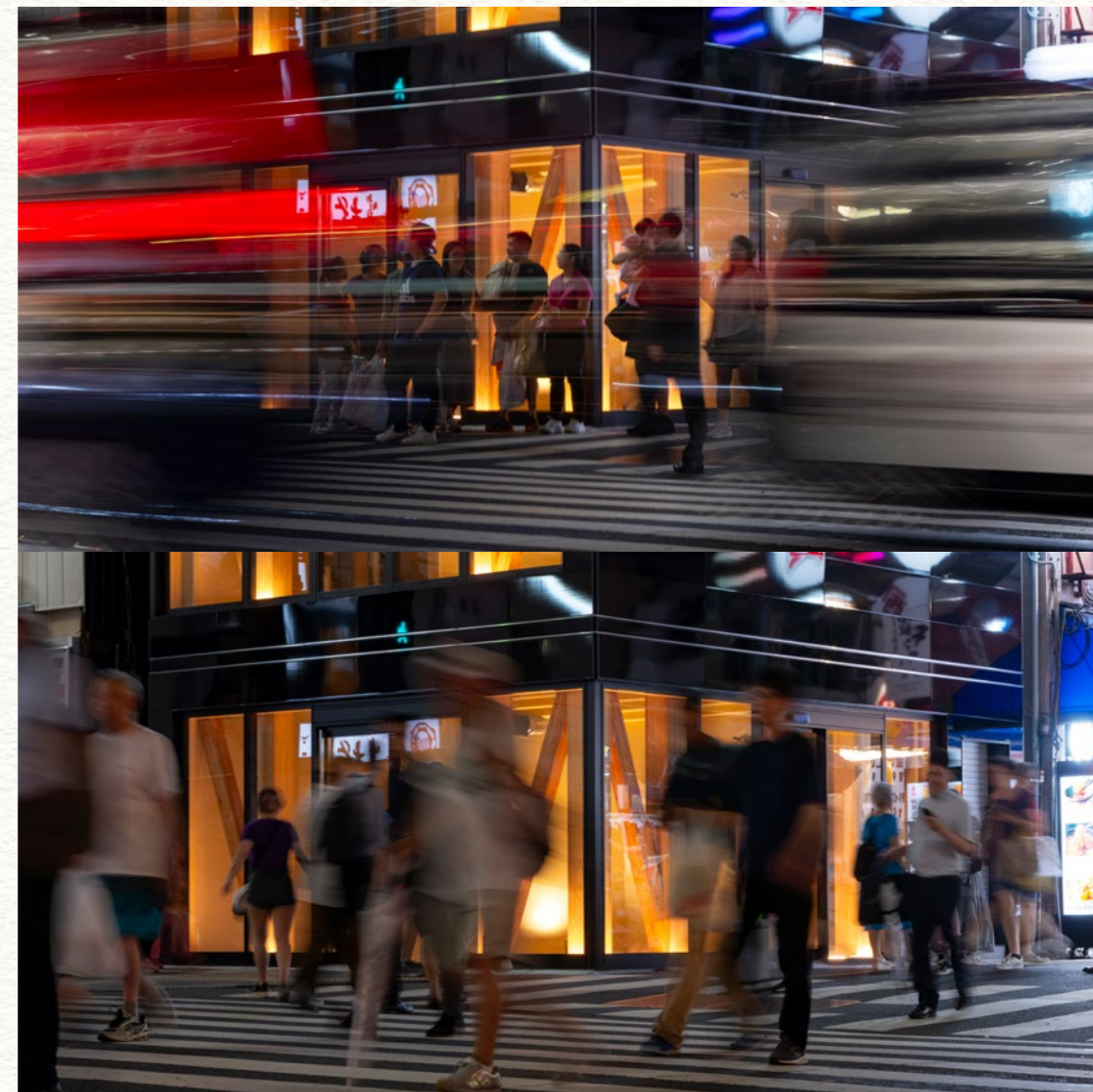
東京都台東区
1時間耐火構造
2025年5月竣工

用途地域:防火地域
主要用途:物販店舗
敷地面積:47.92㎡
建築面積:36.07㎡
延床面積:106.28㎡
階数:地上3階
最高高さ:9.79m
構造:木造
基礎:ベタ基礎

運営:三絹株式会社
総合監修:DESIGNWORKS LLC
設計・監理:佐藤千弘建築設計事務所
施工:株式会社シェルター

木材使用量:35㎡
炭素貯蔵量:27t-CO₂
GHG排出量:104.6kg-CO₂e/㎡年
樹種:スギ、ヒノキ、カラマツ(国産)
アカマツ(外国産)

撮影:Isamu Itoh(特記を除く)



国際的観光地「アメ横」の玄関口に位置する3階建て純木造のテナントビル。木架構ならではの表情を街並みに訴求すべく、表面を木材で仕上げる耐火構造の国土交通大臣認定が用いられた。

本事例は老朽化した築50年以上の既存建築物を、鉄骨造2階建てから木造3階建てへと建て替える計画であるが、当初から木造化が計画されていたわけではない。当地は狭小な区画に建つビルがひしめき、一方通行の小道が交差する上野・御徒町エリア。また、南面に接する春日通りは国道と重複しつつ池袋エリアから墨田区方面へと流れ、車両の交通が絶えない。はす向かいには乗車人数だけで1日平均6万3千にのぼるJR御徒町駅改札、東面横には「アメ横」のアーチがあり人流も途切れない。そのため、重機の乗り入れや囲いの設置などが困難で、工事に制限が伴った。そこで、躯体が比較的軽量なため杭工事や基礎工事の負担が軽減し、鉄骨造と比べて工種も限定することができる木造が採用されるに至った。



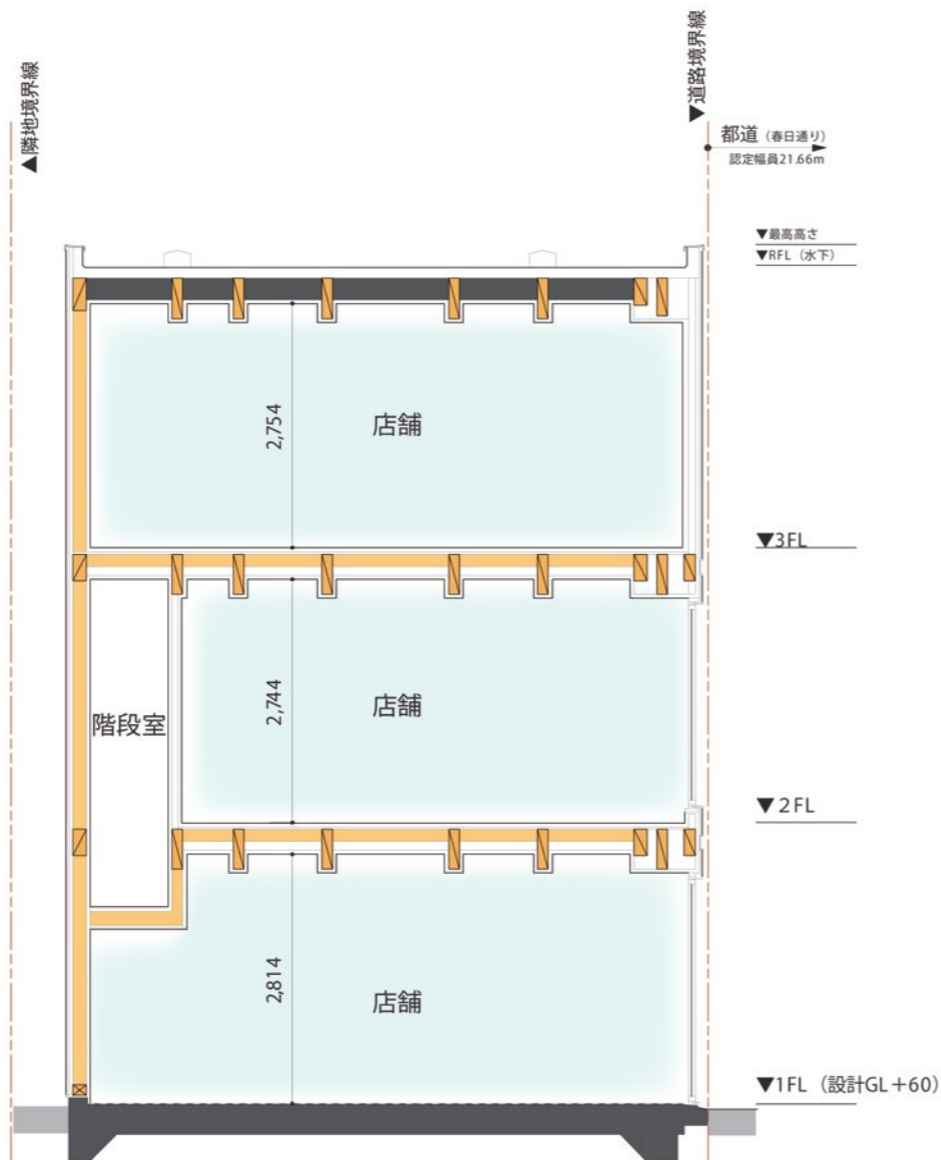
写真提供:株式会社シェルター

アメ横通り側から工場で作られたプレキャストされた構造材を搬入。その多くは接合金物まで取り付けられた状態で搬入され、現場で組み立て、ドリフトピンが打ち込まれた。



写真提供:株式会社シェルター

春日通りにラフタークレーンを配置して、構造材を吊り、建て方工事が行われた。1階層につき1日、計3日間で建て方が完了。オフサイト工事との併用により搬入と吊り込みは1日あたり約4時間と効率的に遂行され、道路占有も最小限に留められた。



断面図



配置図・1階平面図



ガラス窓によって屋外にも木造部が現されている。周囲の風景を写し込む外装材が採用され、昼から夜にかけて風景の溶け込みが変化し、木材の有機性との親和性が考慮されたデザインである。



3階 内観 (内装工事前)



2階 内観 (内装工事前)



1階 内観 (内装工事前)



写真提供:佐藤千弘建築設計事務所
既存建物

本計画を通して見えた木造耐火建築の可能性と課題は？

総合監修: DESIGNWORKS LLC 朴成洙氏

木材という加工性の良い部材で組み上げることで、工事の悪条件から波及するコスト高をある程度抑制できたと考えている。その結果、デザインの余地を残すことが可能となった。木造はS造などよりも比較的短工期が可能な反面、施工検討時間が不足しやすい点には注意が必要である。

設計・監理: 佐藤千弘建築設計事務所 佐藤千弘氏

建て方の終盤、駅前の混雑の中から写真を撮る人を多数見かけ、その注目から木の魅力を再認識した。木材は管理が重要な材料でもある。木造耐火建築物は被覆内部の確認が容易ではないため、非破壊検査などを活用し、適切に手をかけて寿命を延ばす工夫の必要があると考えている。

新規入会一覧

2025年度は下記の通り、正会員② 1 法人、正会員③ 18 法人、特別賛助会員 20 法人、特別会員 5 法人が入会され、昨期末時点で計 554 の会員を数えるに至りました。

正会員②

後藤木材株式会社

岐阜県

正会員③

株式会社ネオデザイン事務所 宮城県	那須建設株式会社 山形県	ヤマトプロテック株式会社 茨城県	平岩建設株式会社 埼玉県
----------------------	-----------------	---------------------	-----------------

株式会社ヴォンエルフ 東京都	清水建設株式会社 東京都	高松建設株式会社 東京都	ビューリックプロパティソリューション株式会社 東京都
-------------------	-----------------	-----------------	-------------------------------

ミサワホーム株式会社 東京都	株式会社リンレイ 東京都	風越建設株式会社 神奈川県	株式会社福田組 新潟県
-------------------	-----------------	------------------	----------------

真柄建設株式会社 石川県	貝沼建設株式会社 愛知県	矢作建設工業株式会社 愛知県	東レ建設株式会社 滋賀県
-----------------	-----------------	-------------------	-----------------

株式会社MK建設工業 大阪府	エスケー化研株式会社 大阪府
-------------------	-------------------

特別賛助会員

東日本興業株式会社 宮城県	有限会社石山設計事務所 山形県	有限会社汎連合設計 茨城県	エーピーエヌ設計株式会社 埼玉県
------------------	--------------------	------------------	---------------------

Atelier Tsuyoshi Tane Architects 東京都	株式会社アトリエテン 東京都	株式会社イズミコンサルティング 東京都	株式会社佐藤秀 東京都
---	-------------------	------------------------	----------------

Somato一級建築士事務所株式会社 東京都	合同会社Tony Tong Atelier 東京都	有限会社永山祐子建築設計 東京都	日本郵政建築株式会社 東京都
---------------------------	------------------------------	---------------------	-------------------

株式会社乃村工藝社 東京都	マイハウススタジオ・アソシエイツ構造設計事務所 東京都	ウッドブロック株式会社 岐阜県	株式会社AUAU建築研究所 愛知県
------------------	--------------------------------	--------------------	----------------------

株式会社アトリエルクス 愛知県	株式会社横山建築事務所 兵庫県	株式会社コラム建築設計事務所 島根県	Häring AG(ハリング・アーゲー) スイス連邦 アイケン
--------------------	--------------------	-----------------------	------------------------------------

特別会員

東京都 東京都	日本ERI株式会社 東京都	一般財団法人日本建築総合試験所 大阪府	大田市役所 島根県
------------	------------------	------------------------	--------------

一般財団法人島根県建築住宅センター
島根県



事務局より

今号では、木耐建の安達副会長による 2000 年以降の「木造耐火」の変遷と今後の展望に関する講演記事や、会員企業の設計施工により 2025 年度に竣工した木造耐火建築物等をご紹介します。会報誌『Timber City』は、今年度から年 4 回(4 月、7 月、10 月、翌年 1 月)の発行とし、協会ホームページには PDF 版を公開いたします。協会や会員の木造耐火建築の取組や、タイムリーな情報をお届けしてまいります。会員の皆様からも紹介したい記事や、取り上げて欲しいテーマ等がございましたら、事務局までお寄せください。

今年度もよろしく願いいたします。

事務局長 鈴木智和

本誌へのご意見・ご感想・取材のご希望等をお寄せください

『Timber City』は、木耐建事務局で制作しています。会員の皆様の声をもとに改善してまいりたいと考えておりますので、ご意見・ご感想を賜れますと幸いです。また、取材により会員企業の皆様のご動向や、業界の話題を掲載してまいります。皆様からの情報提供や取材のご希望などをお待ちしております。WEBフォームよりお知らせください。

▼コチラに声をお寄せください



Timber City 2026年 春号
2026 年 4 月 8 日発行

一般社団法人 日本木造耐火建築協会
〒108-0014
東京都港区芝 5-36-7 三田ベルジュビル 9F
TEL : 03-6809-4500
FAX : 03-6809-4501
E-MAIL : toiwase@mokutaiken.or.jp

年 4 回、各月 8 日発行(4 月、7 月、10 月、1 月)
※発行月日は前後する可能性があります。



一般社団法人
日本木造耐火建築協会
Japan Fire-proof Timber building Association